

環境ビジョン 3

交流と教育・文化のまち

わたしたちの地球環境問題への関心の度合いは、世界から見ても非常に高いレベルであることがわかっています。しかし、一人ひとりの環境負荷の少ないライフスタイルへの転換や持続可能な地域社会づくりについてはあまり進んでいないのが現状です。

これは、これまでの環境教育・学習機会が、ライフスタイルや地域の課題を総合的な視点で捉えた具体的な取り組みへと結びついていなかったからといえます。

本市には、先人から受け継がれてきた豊かな自然環境や歴史的・文化的遺産、伝統芸能といった地域文化を形成する数多くの地域資源が存在しています。

持続可能な地域社会の実現のためには、地域に住む一人ひとりがこうした地域の恵みを保全し、活かしながら、学校や地域が連携して環境教育・学習を進めることが大切です。

また、学校や地域をはじめ、自治体や海外との積極的な交流は、地域の特色をより一層高められるきっかけとなります。

わたしたちは、自然、歴史・文化資源を活かした魅力的な「新城らしさ」あふれる『交流と教育・文化のまち』を創造し、将来世代に引き継いでいきます。

1 環境教育

●拠点づくり

【環境教育拠点の整備】

地球温暖化や廃棄物などに見られる環境問題は、人のライフスタイルと密接に関わっています。こうした問題の解決のためには、現在の大量生産 → 大量消費 → 大量廃棄を基調にした高負荷なライフスタイルを、極力環境への負荷の少ないものへ速やかに変革していく必要があります。

それには、一人ひとりが、それぞれの日常行動が環境にどのような影響を与えているか、また、そのことが自分たちの生活や将来の世代にどのような影響を及ぼすかなど、人と人を取り巻く環境との相互作用について理解し、行動に結びつけていけるような環境教育の拠点の整備が重要な要素となります。

本市では、鳳来寺山参道の門前にある「鳳来寺山自然科学博物館」が環境教育の拠点として挙げられます。「足下の気づき」から 地域を知る → 何をすべきか考える → 実際に行動するというコンセプトの下でさまざまな講座、展示が行われています。



《鳳来寺山自然科学博物館の主な取り組み》

鳳来寺山を中心とした奥三河の自然に関する展示と、足元の自然をテーマにした特別展や、野外学習会、子ども向け自然講座、現地見学ツアーなどの活動を活発に行っています。

また、博物館友の会があり、市内はもとより県内外に多くの会員がいて博物館を活用しています。会員の有志によるボランティアグループ「博物館協力隊」（子どもから大人まで26名が登録）が結成され、博物館主催で開催する野外学習などの補助や環境整備活動、資料整理などを行うとともに、友の会主催の自然観察会などの講師などもつとめています。

郷土の自然について調査、展示、教育普及、資料収集するといった、さまざまな博物館活動を市民ボランティアとともに力をあわせて推進しています。



夏の自然合宿

◇特別展

実施日	テーマ
4月29日(金)～6月30日(木)	しんしろの花・木・石・カエル展
7月20日(水)～8月31日(水)	私たちのまわりの自然とくらし展
9月25日(日)～10月16日(日)	山不作の年のきのこ展
11月1日(火)～3月4日(日)	友の会35年の歩みと博物館

◇野外学習会

実施日	テーマ	参加数	開催場所
4月29日(金)	県民の森の植物を楽しもう	32	愛知県民の森
5月29日(日)	名大年代測定センター・博物館見学	43	名古屋大学
6月5日(日)	鳳来寺山でモリアオガエルや初夏の生きもの絵を観察しよう	35	鳳来寺山
7月3日(日)	豊川上流から河口までの河原と河岸のようす	15	設楽町～豊橋市
8月6日(土) ～7日(日)	夏の自然合宿「鳳来寺山のフクロウや光に集まる虫を観察しよう」	51	音為川
10月9日(日)	きのこを調べよう	35	うでこき山周辺
10月30日(日)	木地師の里の秋の植物	17	設楽町面の木周辺
12月4日(日)	城山周辺の岩石	39	中宇利など
1月15日(日)	水鳥を観察しよう	21	桜淵公園

◇子ども自然講座

実施日	テーマ	参加数	開催場所
7月24日(日)	どうぶつのからだ	7	博物館
7月31日(日)	ルーペで花を観察しよう	3	博物館
8月28日(日)	石でアクセサリーをつくろう	12	博物館

◇ジュニアナチュラリスト養成楽級・山の学校「森のこびと教室」

実施日	テーマ	参加数	開催場所
5月15日(日)	植物の見かた	10	鬼久保広場
8月21日(日)	ミクロの世界をのぞく	8	鬼久保広場
10月16日(日)	きのこの見方	10	鳳来寺山
11月5日(土)	森のつくり	6	桜淵公園

◇現地見学会

実施日	テーマ	参加数	開催場所
10月23日(日)	領家帯の滝めぐりツアー	18	只持の不動滝など
1月29日(日)	郷土の巨樹・名木を訪ねる	14	門谷、黄柳野など
2月25日(土) ～26日(日)	奥三河自然満喫ツアー	44	市内各所

【公民館活動の整備・充実】

市では、農地の保全、開水路・農道等施設の適正な管理保全による長寿命化とともに農村環境を保全する効果の高い取り組みを行う活動組織を支援しています。

現在、市内19地区で農地保全のための活動が行われ、そのうち11地区においては生態系保存のための実践活動も行われています。

◇活動状況

No.	地区名	活動組織名	主な活動
1	上平井	上平井地域環境保全隊	生物生息状況把握、水質モニタリング調査ほか
2	片山	片山地域環境保全隊	生物生息状況把握、田法面への植栽ほか
3	牛倉	牛倉地域環境保全隊	大宮川の生物状況把握、水仙の植栽
4	鳥原	鳥原地区環境保全会	希少種の監視及び生息状況の把握、施設への植栽ほか
5	浅谷	浅谷地域の環境を守る会	五反田川の水質・魚の生息調査、コスモス等の作付け
6	石田	石田の地域環境を守る会	ホタルなどの生息調査
7	豊島	豊島環境保全会	放流等を通じた在来生物の育成、生物生息状況把握
8	田代	田代地域環境保全会	在来生物の育成活動
9	黒瀬	黒瀬美土里会	水路内の生物生息状況把握
10	善夫	善夫守里隊	水路内の生物生息状況把握
11	菅沼	菅沼を良くしまい会	水路内の生物生息状況把握

●環境教育・学習

市では、身近な自然の様子から地球温暖化といったグローバルな環境問題にいたるまで、ニーズに応えた環境学習を実施しています。

《親と子の走る環境教室》

親と子の「走る環境教室」は、夏休み中の市内の小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、マイクバスなどを使って、市内外のリサイクル工場や環境関連施設の見学や勉強会を通じ、環境問題に対して理解を深め、その対策について親子で考えるものです。



平成23年度は、でんきの科学館を見学し、親子でエネルギー資源の未来について学びました。

◆ 8月21日（日）

参加者数 児童11名 保護者7名

◆ 8月29日（月）

参加者数 児童15名 保護者11名

◇親と子の走る環境教室の開催状況

年度	見学先
H13	県下水道科学館（平和町）自然共生研究センター（岐阜県川島町）
H14	王子製紙株式会社春日井工場（春日井市）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H15	トヨタ「里山学習館エコの森ハウス」（豊田市）
H16	愛知県下水道科学館（平和町）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H17	川売・梅の里、四谷・千枚田（旧鳳来町）段戸・きららの森（設楽町）
H18	でんきの科学館、エコパルなごや（名古屋市）
H19	コカ・コーラ東海北工場、東邦ガス（株）ガスエネルギー館（東海市）
H20	中部電力川越火力発電所・川越電力館テラ 46（三重県川越町）
H21	あいち臨空新エネルギー実証研究エリア（常滑市）新舞子マリパーク風力発電所（知多市）
H22	浜岡原子力館（静岡県御前崎市、浜松科学館（静岡県浜松市）
H23	でんきの科学館（名古屋市）

《市民環境講座》

市では、環境問題に取り組んでいる、若しくはこれから取り組もうとされているみなさんを対象に「環境活動に関する学習機会」を提供するために、平成16年度から毎年「市民環境講座」を開催しています。平成23年度のテーマは「エネルギー」と「エコライフ」とし、環境ジャーナリストの村上敦さん、環境エコライフ・アドバイザーの笑呼路次郎（エコロジー）さんをお招きし、多くのみなさんの参加を得ました。



◆ 8月7日（日） 講師：村上 敦 氏
 日本がドイツから学べること
 ～エネルギー戦略と持続可能なまちづくり～
 新城文化会館 小ホール
 参加者77人

◆ 3月6日（日）
 講師：笑呼路 次郎（エコロ ジロー）氏
 実践！楽しいエコライフ
 + 環境腹話術
 新城文化会館 301講習室
 参加者41人



《水生生物調査》

市では、市内小中学校の生徒や行政区と河川における水生生物調査活動を行っています。

ほぼ毎年、同じ地点の水生生物の調査をしますが、水質の状況を把握するとともに、地域の自然とふれあうことのできる良い機会となっています。また、地元の水生生物調査を実施することにより、地元の川を自分たちで守ろうという意識の高揚にもつながります。



◇水生生物調査実施の状況（平成 23 年度）

学校・団体名	河川名	実施日	参加人数
千郷小学校①	野田川	6月22日	35
千郷小学校②	野田川	6月22日	37
庭野小学校	原川	6月22日	12
千郷小学校③	野田川	6月23日	35
千郷小学校④	野田川	6月23日	35
舟着小学校	大入川	6月24日	16
東郷東小学校	五反田川	6月24日	46
山吉田小学校	黄柳川	6月28日	11
鳳来東小学校	宇連川	6月29日	20

海老小学校	谷川	6月29日	18
巴小学校	巴川	7月4日	24
千郷中学校	野田川	7月5日	58
東郷西小学校	半場川	7月13日	63
協和小学校	巴川	7月14日	7
八名中学校	宇利川	7月26日	13
石田区水生生物調査会	石田地内 庚申川支流	8月6日	50
菅沼区水生生物調査会	菅沼川支流	8月7日	15
舟着子ども会吉川支部	大峯川	8月7日	8
豊島環境保全会	杉川、殿田川支流	8月21日	30
実施19回（10小学校・2中学校・4団体）			計533名

《地球温暖化に関する学習会》

持続可能な社会を構築していくためには、住民の方々の環境に配慮した行動も大切です。

市では、緊急な課題である気候変動などの地球温暖化問題に対し、状況を理解し、自ら考え、行動していただくため、要望により学習会を実施しています。

1 授業90分を基本に、受講される方の習熟度によって講座内容を変更しています。



◇地球温暖化に関する学習会実施状況（平成23年度）

団体名等	主な内容	実施日	参加人数
海老小学校	温暖化防止教室	6月21日	18
八名幼稚園	温暖化防止教室	9月9日	56
新城小学校	温暖化防止教室	10月4日	101
実施3回（1幼稚園、2小学校）			計175名

《ごみに関する環境学習》

市では、ごみの出し方や分け方をはじめ、処理の方法などについて実際に現場を見学して理解してもらうことを目的に、市内小学校の4年生を中心にごみに関する学習を実施しています。

◇ごみに関する学習会実施状況（平成23年度）

見学日	学校等名	見学者数	見学施設			見学時間
			クリーンセンター	資源集積センター	鳥原埋立処分場	
5月10日(火)	東陽小学校	28人	○	○	○	9:00～11:30
5月11日(水)	連谷小学校	4人	○		○	9:15～11:30
	海老小学校	3人				
5月13日(金)	鳳来西小学校	17人	○		○	9:30～11:20
5月18日(水)	千郷小学校(松・竹組)	72人	○	○		9:20～11:20
5月19日(木)	舟着小学校	16人	○		○	9:45～11:30
5月20日(金)	巴小学校	13人	○		○	9:30～11:20
5月23日(月)	八名小学校	34人	○		○	9:00～11:00
5月24日(火)	鳳来中部小学校	30人	○			9:20～10:50
5月25日(水)	千郷小学校(梅・雪組)	70人	○	○		9:20～11:20
5月27日(金)	東郷東小学校	46人	○		○	9:20～11:40
5月31日(火)	東郷西小学校	63人	○		○	9:10～12:00
6月21日(火)	庭野小学校	14人	○		○	9:15～11:00
6月28日(火)	新城小学校	102人	○		○	9:00～12:10
11月16日(水)	老人クラブ連合会	40人	○	○	○	9:30～11:00
実施15回（13小学校・1団体）						計552名

《水道に関する環境学習》

市では、子どもたちに水道に関する基礎知識を学ぶことにより、水環境に対する興味と関心をもってもらうことを目的に、市内小学校4年生を対象に水道教室を実施しています。

水道講座（パワーポイントによる水道の基礎知識の学習および簡易急速ろ過実験）および、希望校については鯉淵浄水場はじめ、それぞれ地区の浄水場見学を実施しています。



◇水道に関する環境学習実施状況（平成23年度）

学校名	内容	実施場所	実施日	参加人数
黄柳野小学校	講座	黄柳野小学校	6月1日	8名
新城小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月3日	99名
山吉田小学校	講座	山吉田小学校	6月6日	10名
東陽小学校	講座・見学	東陽小学校、大野浄水場	6月7日	26名
連谷小学校	講座・見学	連谷小学校、連合浄水場	6月8日	3名
巴小学校	講座	巴小学校	6月9日	12名
舟着小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月10日	15名
協和小学校	講座・見学	協和小学校	6月13日	6名
海老小学校	講座・見学	海老小学校、海老浄水場	6月14日	2名
東郷西小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月15日	60名
鳳来寺小学校	講座	鳳来寺小学校	6月16日	6名
鳳来西小学校	講座・見学	鳳来西小学校、布里浄水場	6月17日	8名
東郷東小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月21日	44名
鳳来中部小学校	講座・見学	鳳来中部小学校、乗本浄水場	6月22日	28名
八名小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月27日	32名
庭野小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月28日	13名
開成小学校	講座	開成小学校	6月29日	10名
千郷小学校	講座	千郷小学校	7月1日	135名
実施18回（18小学校・25クラス）				計517名

《環境ポスターコンクール》

市では、ごみの減量化・資源リサイクル・環境美化の意識を高揚し、環境問題に関心を持っていただくため、社会科の授業で「ごみ」について勉強している小学4年生を対象に、環境ポスターの募集を行っています。平成23年度は237点の作品が寄せられました。

◆金賞2名、銀賞3名、銅賞5名、入選10名

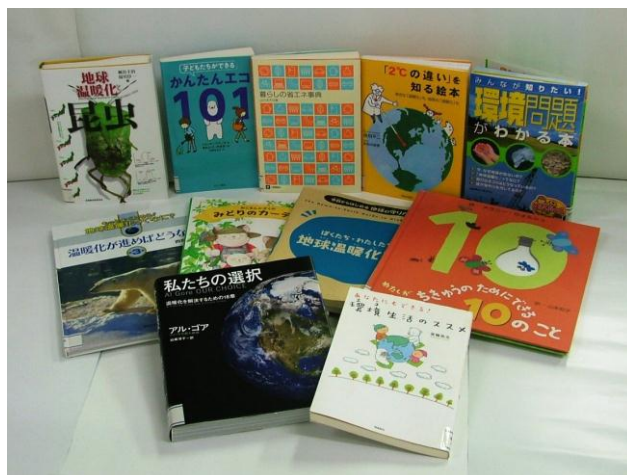


平成23年度金賞作品

《しんしろエコ・ライブラリー》

市では、環境図書などを通して、さまざまな情報を皆さんに提供し、共に考え、その対策を進めていくための契機になればと、市内在住の方を対象に無料で貸し出しを行っています。

この事業は、市内のスーパーなどが取り組んでいる「レジ袋有料化」による収益金を「環境関連の資金として使用して欲しい」と1事業所から市に寄付をいただいたことから始まりました。



◇貸出状況（平成23年度）

品名	件数
図書	16
DVD	8
	計24件

《チャレンジ25新城》



市では、市民のみならず、事業所がひとつのチームとなり、温暖化の防止施策を無理なく、楽しく、できる限り大きな成果を挙げることを目的として「チーム・マイナス6%しんしろ」を結成し、平成22年度より、国の動きに合わせて「チャレンジ25新城」へ移行しました。

多くの方にこの取り組みを知っていただくために、さまざまな機会を通じて、PR活動を実施しています。

■「チャレンジ25」って何するの？

CO₂削減のために、具体的な「6つのチャレンジ」を提案しています。チーム全員が、日々のちょっとした気遣いを積み重ねれば、確実に大きな削減効果が期待できます。

1. エコなスタイルを選択しよう
2. 省エネ製品を選択しよう
3. 自然を利用したエネルギーを選択しよう
4. ビル・住宅のエコ化を選択しよう
5. CO₂削減につながる取組を応援しよう
6. 地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう

◆平成23年度末登録数 個人 2,002名 団体 8団体

◇平成23年度 チャレンジ25新城の活動状況

実施日	活動の内容
4月8日	今年度第1回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。開催内容などについて再検証しました。 はつらつセンター会議室 参加委員11名
4月25日	今年度第2回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。新城青年会議所との調整やメインキャンドル図案、各園への参加呼びかけなどについて検討しました。 市民体育館第1会議室 参加委員16名
5月16日	今年度第3回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。メインキャンドルの図案決定、各園への参加呼びかけ状況などについて検討、報告しました。 市民体育館第1会議室 参加委員13名
5月18日	滋賀県守山市議会視察対応（8名）。チャレンジ25新城の取り組みなどについて説明しました。
5月22日	社団法人新城青年会議所5月例会「いま、あらためて考えること」に、環境課職員もパネリストとして参加しました。また、環境課から省エネ・節電の呼びかけチラシを配布しました。 参加者57名、チャレンジ25登録者3名
5月28日	電気自動車の展示、チャレンジ25登録受付のため、第23回豊川市民まつり「おいでん祭」に参加しました。台風接近による大雨のため、予定していた電気自動車同乗体験は中止となり展示のみとなりました。 チャレンジ25登録者4名
6月13日	今年度第4回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。メインキャンドル、環境紙芝居、一般グループの参加呼びかけについて検討しました。 市民体育館第1会議室 参加委員11名
6月21日	「海老小学校」の全児童を対象に、温暖化防止教室を開催しました。また、先生や児童を対象に電気自動車の体験乗車会も開催しました。 参加児童15名、先生3名、チャレンジ25登録者15名
7月2日	「ツール・ド・新城2011」会場にて、電気自動車の展示、チャレンジ25新城のPRを実施し、温暖化防止を呼びかけました。また、2時間エンデューロ・ママチャリ部門に2チームが参加し、Aチームが5位、Zチームが6位と大健闘しました。
7月3日	「ツール・ド・新城2011」会場にて、電気自動車の展示、ソーラーッキングなどを行い、温暖化防止と自然エネルギーの利用についてPRしました。また、チャレンジ25キャンペーンの登録も行いました。 2日間のチャレンジ25登録者64名
7月22日	今年度第5回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。メインキャンドルの色使い、新作の環境紙芝居のチェック、園の参加状況報告、一般グループの参加呼びかけなどについて協議しました。 はつらつセンター会議室 参加委員12名
7月25日	「エネルギーに関する職員研修」（テーマ：エネルギー問題と温暖化対策－今、何

	を議論し、行動すべきなのかー) を実施しました。 作手総合支所 参加者：第1回9名、第2回8名
7月26日	「エネルギーに関する職員研修」(テーマ:エネルギー問題と温暖化対策ー今、何を議論し、行動すべきなのかー) を実施しました。 鳳来総合支所 参加者：第3回20名、第4回22名
7月27日	「エネルギーに関する職員研修」(テーマ:エネルギー問題と温暖化対策ー今、何を議論し、行動すべきなのかー) を実施しました。 市民体育館 参加者：第5回76名、第6回67名
7月29日	「エネルギーに関する職員研修」(テーマ:エネルギー問題と温暖化対策ー今、何を議論し、行動すべきなのかー) を実施しました。 市民体育館 参加者：第7回77名 市民病院 参加者：第8回45名
8月1日	今年も市役所で実施した緑のカーテンで採れたゴーヤなどを、市民保険課前の待合室で配布を始めました。
8月2日	「エネルギーに関する職員研修」(テーマ:エネルギー問題と温暖化対策ー今、何を議論し、行動すべきなのかー) を実施しました。 消防防災センター 参加者：第9回82名
8月3日	「エネルギーに関する職員研修」(テーマ:エネルギー問題と温暖化対策ー今、何を議論し、行動すべきなのかー) を実施しました。 消防防災センター 参加者：第10回52名
8月6日	今年も石田区で計画された「ふるさとの環境を考える～水中生物調査会～」において、職員が水生生物調査に協力しました。 参加区民60人
8月7日	今年度第1回目の市民環境講座(日本がドイツから学べること～エネルギー戦略と持続可能なまちづくり～)を開催しました。 文化会館小ホール 参加者77名
8月21日	今年度1回目の親と子の走る環境教室を開催しました。でんきの科学館の見学を通して、親子で環境問題に対する理解を深めました。 参加者 大人7名、子ども11名
8月26日	今年度第6回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。フェアトレードの歌、紙芝居の内容・配役、メインキャンドル作業進捗状況、一般グループの参加状況などについて報告、協議がありました。 はつらつセンター会議室 参加委員13名
8月29日	今年度2回目の親と子の走る環境教室を開催しました。でんきの科学館の見学を通じて、親子で環境問題に対する理解を深めました。 参加者 大人11名、子ども15名 チャレンジ25登録者10名
9月9日	「八名幼稚園」で園児を対象とした、温暖化防止教室を開催しました。 参加園児50名、先生6名
9月9日	民生・児童委員会全員協議会において、「エネルギー問題に関する説明会」を実施

	<p>しました。</p> <p>文化会館大会議室 参加者120名</p>
9月19日	<p>新城東高等学校「雁峰祭」に出かけ、電気自動車の同乗体験会を実施しました。</p>
9月26日	<p>今年度第7回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。フェアトレードの歌や商品販売、環境紙芝居の内容、メインキャンドル作業進捗状況などについて協議しました。</p> <p>はつらつセンター会議室 参加委員12名</p>
9月30日	<p>市民団体「しんしろ環境あいうえお会議」の皆さんを対象に、「エネルギー問題に関する勉強会」を実施しました。</p> <p>はつらつセンター会議室 参加者8名</p>
10月4日	<p>「新城小学校」の4年生を対象に、温暖化教室を開催しました。また、先生や児童を対象に電気自動車の体験乗車会も開催しました。</p> <p>参加児童98名、先生3名</p>
10月12日	<p>「キャンドルナイト新城2011」で行う環境紙芝居の練習を実行委員の皆さんと行いました。</p> <p>参加委員8名</p>
10月16日	<p>新城文化会館はなのき広場で開催された、第70回リサイクルフリーマーケットにおいて、電気自動車の同乗体験会、太陽焦熱炉を使ったフェアトレードコーヒーの試飲などを実施しました。同乗体験会では、文化会館周辺道路（約1キロメートル）を走行しました。</p> <p>同乗体験会参加者10名、チャレンジ25登録者25名</p>
10月22・23日	<p>「JAまつり」会場（JA愛知東グリーンセンターしんしろ）にて、電気自動車の展示、緑のカーテン倶楽部コンテスト2011の審査結果公表・表彰式を行い、温暖化防止などのPRを実施しました。また、チャレンジ25キャンペーンの登録も行いました。</p> <p>チャレンジ25登録者66名</p>
10月24日	<p>今年度第8回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。当日の準備や片づけ、スケジュール確認、フェアトレード商品の販売について最終チェックなどを行いました。</p> <p>市民体育館第1会議室 参加委員12名</p>
10月29日	<p>新城文化会館はなのき広場にて、キャンドルナイト新城2011を開催しました。参加保育園・幼稚園10園、一般1団体などにより、キャンドル2,000本以上が点灯され、会場では毎年恒例の環境紙芝居のほか、フェアトレードをテーマとした合唱や商品（チョコレートなど）の販売コーナーも設置しました。</p> <p>来場者2,000人余</p>
10月30日	<p>前日に行われたキャンドルナイト新城2011で使用した資材（ペットボトルなど）の整理や分別作業、会場の清掃を実行委員の皆さんで行いました。</p> <p>参加委員12名</p>
11月13日	<p>電気自動車の展示やチャレンジ25新城登録受付のため、今年も「つくで祭り」にブース出展しました。</p>

	チャレンジ25登録者70名
11月21日	今年度第9回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。今年度の反省点と来年度に向けた取り組みなどを協議しました。 市民体育館第1会議室 参加委員11名
12月18日	安城市で開催された「あんじょうエコライフフェアinさくらい」にブース出展させていただき、新城市のPRを行いました。
3月3日	今年度第2回目の市民環境講座「実践！楽しいエコライフ」を開催しました。 文化会館301会議室 参加者41名 チャレンジ25登録者21名



2 歴史・文化

●歴史的・文化的環境の保全整備

【史跡、名勝、天然記念物や建造物の保持】

《環境整備の実施》

国指定史跡長篠城跡をはじめとした城跡や古墳等の史跡、県指定天然記念物長の山湿原や清岳向山湿原などの適正な環境維持を行うため、地元市民等の協力により草刈り等の環境整備を行いました。



長ノ山湿原



宇利城跡

◇指定文化財の状況

平成23年度末現在

	種別	名称	所在地	指定年月日
国指定文化財	建造物	東照宮	門谷	S28. 11. 14
		鳳来寺仁王門	門谷	S28. 11. 14
		望月家住宅	黒田	S49. 2. 5
	絵画	絹本著色三千仏名宝塔図	中宇利	H 6. 6. 28
	彫刻	木造薬師如来坐像	庭野	S 6. 12. 14
		木造阿弥陀如来坐像 附 木造観音菩薩坐像	巢山	S52. 6. 11
	無形民俗	三河の田楽	門谷・七郷一色	S53. 5. 22
	史跡	長篠城跡	長篠	S 4. 12. 17
	名勝	鳳来寺山	門谷	S 6. 7. 31
		阿寺の七滝	下吉田	S 9. 1. 22
	天然記念物	乳岩及び乳岩峡	川合	S 9. 1. 22
		馬背岩	豊岡	S 9. 5. 1
		黄柳野つげ自生地	黄柳野	S19. 3. 7
		甘泉寺のコウヤマキ	作手鴨ヶ谷	S47. 5. 26
国登録文化財	建造物	旧黄柳橋	乗本	H10. 9. 2
		瀧川家住宅主屋	出沢	H17. 2. 28
		瀧川家住宅長屋門	出沢	H17. 2. 28
		瀧川家住宅祠	出沢	H17. 2. 28
		旧大野銀行（大野宿鳳来館）本館	大野	H21. 1. 8

		旧大野銀行（大野宿鳳来館）土蔵	大野	H21. 1. 8
県指定文化財	絵画	甘泉寺の涅槃図	作手鴨ヶ谷	S47. 6. 7
	彫刻	木造十一面観音立像	杉山	S32. 1. 12
		木造不動明王立像	巢山	S53. 3. 15
		木造熊野三所懸仏	巢山	S54. 3. 22
	無形民俗	信玄原の火おんどり	竹広	S40. 5. 21
		乗本万灯	乗本	S51. 7. 14
		南設楽のほうか	大海・布里・一色 塩瀬・源氏・名号	S58. 9. 14
	史跡	設楽のしかうち行事	能登瀬	S58. 3. 7
		宇利城跡	中宇利	S32. 9. 6
		旗頭山尾根古墳群	八名井	S53. 5. 29
	名勝	断上山古墳9・10号墳	大宮	S53. 10. 16
		満光寺庭園	下吉田	S49. 7. 3
	天然記念物	須山のイヌツゲ	作手清岳	S29. 2. 5
		ムカデラン自生地	川合	S30. 5. 6
		ねずの樹	門谷	S30. 7. 1
長ノ山湿原		作手岩波	S48. 11. 26	
中宇利丸山の蛇紋岩植生		中宇利	S55. 2. 12	
市指定文化財	種別	指定数	名称	
	建造物	8	能舞台、満光寺の山門、薬師堂他	
	絵画	3	太田白雪画像、鳥居勝商磔殺の図他	
	彫刻	29	木造十一面観音立像、木造大日如来坐像、木造子安観音立像、石造庚申碑、木造神馬、石造閻魔大王他	
	工芸品	6	能装束・能面、鰐口、唐の頭、喚鐘、鉄砲、梵鐘	
	典籍	8	太田白雪自筆著書、太田白雪「きれぎれ」他	
	古文書	38	今川義元証文、今川氏真証文、菅沼家家譜、慶長9年検地帳、御觸書留帳（町役場日記）等	
	考古資料	7	大ノ木遺跡他遺跡、茶臼山古墳他古墳出土品等	
	歴史資料	1	吉田川井堰引船図 附 井堰御普請関係文書	
	無形	3	祭礼能、立物花火、鳳来寺硯製作	
	有形民俗	7	石座石、服部神社伝来赤引糸関係遺物他	
	無形民俗	13	新城歌舞伎、鍋づる万灯、名越神楽、天王祭他	
	史跡	64	黒瀬遺跡、摩訶戸古墳群、新城城跡、信玄塚、富賀寺中世墓地、芭蕉句碑、蟻塚、今水寺跡他	
	名勝	4	鳴沢の滝、桜淵、鮎滝、富賀寺庭園	
天然記念物	24	白鳥神社の大スギ、ヒメハルゼミ、中央構造線長篠露頭、見代のオハツキイチョウ他		



国指定文化財 望月家住宅【建造物】



国指定文化財 木造薬師如来坐像【彫刻】



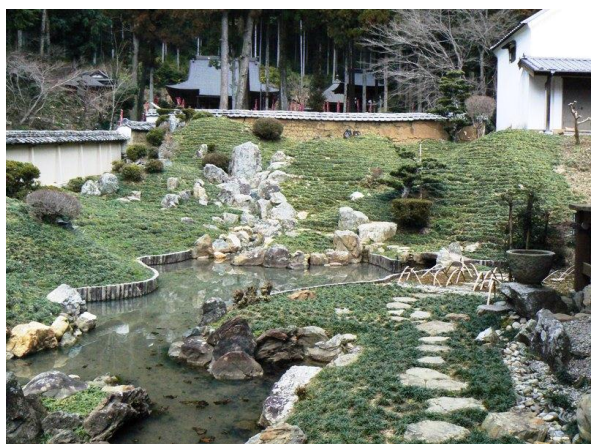
県指定文化財 信玄原の火おんどり【無形民俗】



県指定文化財 設楽のしかうち行事【無形民俗】



市指定文化財
ミカワバイケイソウ自生地【天然記念物】



市指定文化財 富賀寺庭園【名勝】

【歴史・文化の活用】

《歴史・文化関連施設》

「鳳来寺山自然科学博物館」

鳳来寺山自然科学博物館は、国指定の名勝天然記念物・鳳来寺山を中心に、自然の宝庫である東三河を研究するため昭和24年9月に結成された「東三河の地質と鉱物の会」が田口鉄道鳳来寺駅の公舎を改造して開館した、田口鉄道自然科学博物館が前身になります。

そして、昭和38年4月26日、元鳳来寺村長で林業家の丸山喜兵衛氏の寄付により、日本初の二重展示方式を取り入れるなど全国的にも画期的な町立の自然科学博物館が建設されました。

各自然分野の専門家である学術委員による野外学習会などの教育普及活動は、開館時からたゆまず開催しています。また、展示においては、鳳来寺山をはじめとした当地域の地学、動植物などを幅広く展示しています。

また、県内最大規模の植物標本を収蔵するなど、自然資料の収集保存活動も行っています。



鳳来寺山自然科学博物館

「設楽原歴史資料館・長篠城址史跡保存館」

日本三大決戦の一つとされる長篠・設楽原の戦いは、織田・徳川連合軍が初めて新兵器鉄砲(火縄銃)を大量に使用し、その威力をまざまざと見せつけ、後の戦術に一大変革をもたらした日本史に残る著名な戦いです。設楽原歴史資料館、長篠城址史跡保存館には、戦国の分岐点を演じた「鉄砲の戦いー設楽原の決戦」にまつわる人、経緯、火縄銃の果たした役割・その歴史を展示しており、織田・徳川連合軍が陣地の前にめぐらした武田騎馬軍の進撃を防ぐための馬防柵も再現しています。

また、設楽原歴史資料館には、日本開国の基となった幕末の日米修好通商条約調印の立役者・岩瀬忠震についての資料も展示しています。



設楽原歴史資料館



長篠城址史跡保存館

「作手歴史民俗資料館」

作手高原には、「全国重要湿地 500」にも選定されている広大な湿地帯があり、人々は原始・古代から現代に至るまで、その湿地をたくみに利用してきました。

作手歴史民俗資料館には、こうした風土の中で育まれた人々の歴史、民俗や湿地についての資料が集められています。



作手歴史民俗資料館

《新城ふるさとマイスター》

趣味や仕事などで、豊富な知識や経験、優れた技術を持つその道の達人「新城ふるさとマイスター」が、地域での講演会や体験型行事の先生として、とっておきの技や知恵をお教えします。現在のふるさとマイスターは、次の方たちです。

◇新城ふるさとマイスター認定者一覧

氏名		【内容】
藤田 萬吉		【木彫】
林 吉宏		【農村家庭のしきたり】
杉浦エリザベス・森田紀代美		【二ヶ国語絵本読み聞かせ】
竹本 政一		【陶工芸】
原田 弘子		【藍染】
菅谷 哲也		【火縄銃研究】
河部 義通		【柿酢】
滝川 英昭		【メンタルヘルス】
岡田 真澄		【世界の桜】
大井 みどり		【パッチワーク】
古市 正一郎		【マジック（手品）】
菅谷 年弘		【趣味の庭造り】



二ヶ国語絵本読み聞かせ

《新城まちなか博物館》

新城まちなか博物館は、新城の風土の中で生まれた新しいタイプの博物館活動で、仕事場や生活の場がそのままミュージアムであるということです。

「まち」の活動や暮らしの工夫がそのまま博物館であり、生涯学習のキャンパスとなります。順次まちなか博物館の指定を進め、現在は16館になりました。

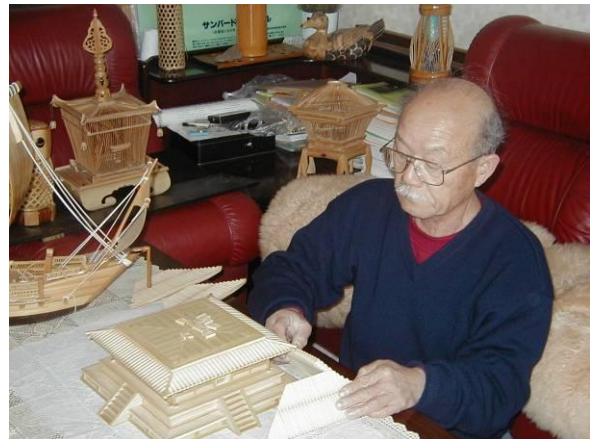
◇新城まちなか博物館指定一覧（平成 23 年度末現在）

No.	博物館名	内 容
1	日野屋商店	酒蔵
2	中西農村民具室	明治時代からの農村民具の展示
3	大原商家民具室	明治時代からの商家民具の展示
4	はたおり工房	高機による機織り

5	馬場彫金工房	鋼板のレリーフ・器の作成
6	藍弘苑	本藍による絞り染め
7	出沢やままゆ養蚕所	やままゆ施設見学・養蚕体験
8	郷土の食品・さくら工房	そば・五平もち作り体験
9	竹細工工房	虫かご・歴史的建造物の制作
10	寒峰窯（陶芸）	陶芸及び制作
11	イーハートーブ吉川（染色工房）	染め絵制作
12	竹工房・雅夢	竹細工
13	明神窯（竹炭）	釜入れ・釜出し・材料集め体験
14	エコファーム河部自然農園	果樹栽培と柿酢作り
15	(有)伸昌 [しんしょう]	銅版を使った折鶴作り
16	医王寺民俗資料館	農具、家庭用品、鉱物、岩石等の展示



出沢やままゆ養蚕所



竹細工工房



エコファーム河部自然農園



竹工房・雅夢

3 交流

●環境交流

【自治体、NPO・NGO等との交流】

近隣自治体や同様の問題を抱えている自治体、NPO・NGO等との交流を深めることは、情報の共有化による取り組みの連携を図ることができるなどのメリットがあります。

《キャンドルナイト新城》

市では、私たちの現在のライフスタイルを少しでも改善するためのきっかけづくりとして「キャンドルナイト新城」を開催しています。

このアクションは、公募の市民実行委員会による「開催の趣旨づくり」から始まりました。

開催時期や場所、方法などが企画立案され、毎年多くの方の参観を得ています。

開催5回目となった平成23年度は10月29日、文化会館はなのき広場で実施され、約2,000名ものお客様がいらっしゃいました。会場は、幼稚園・保育園、一般団体のキャンドルが並び、暖かな灯火に包まれました。

実行委員会では、毎年「メインアート」を作成しており、会場を訪れる方々の楽しみにもなっています。今回は心をひとつに繋げていこうとの想いをこめて、手と手をつなぐ「絆」と、明るい未来を期待して「虹」を制作しました。

キャンドルナイト新城2011 開催の主旨

いま、地球温暖化問題が深刻化しています。このままの状態では温暖化が進むと、水や食べ物の不足など様々な問題が起こり、次世代の生存についての危機がくると言われています。

温暖化の原因は、たくさんの水や電気、化石燃料（石油、ガソリンなど）を使い、そして、たくさんのごみを捨てるといったわたしたちのいまのライフスタイルにあります。

わたしたちがライフスタイルを見直すことで、温暖化問題は解決の方向に向かいます。

こうしたことから、仲間や家族、学校、会社など様々なグループで「電気を消してスローな夜」を感じ、今一度、生活の原点を見つめ直すきっかけづくりとして、10月29日夜、新城文化会館において、ここ新城市から「みんなのチカラ」で行動する参加型イベント「キャンドルナイト」を行っています。

今年で6回目となるイベントですが、特に今回は、震災犠牲者の方々への追悼、節電の呼びかけ、日本全体を包む、祈り、願いなどを、キャンドルの灯すあかりで、心をひとつに繋げていこうとの想いを込めて計画しました。

あたたかな灯火に想いを込め、地球に優しい取り組みとしていきます。



《日本の環境首都コンテスト、同全国フォーラム、同東海地域交流会》

市では、市民（NGO）の視点からの環境自治体づくり支援およびNGOと自治体さらには自治体間の環境問題に関する情報の相互交換の促進を目的とした「日本の環境首都コンテスト」に参加しています。コンテストは、持続可能な地域社会の実現のためにNGOが重視する取り組みの有無について質問・審査されます。

新城市はこのコンテストを「市民の環境施策の提案書」として捉え、第1回目からこのコンテストに参加しています。

◇日本の環境首都コンテスト成績（H22年度で終了）

参加年度	総合順位	人口規模別順位	参加年度	総合順位	人口規模別順位
H13年度	27位	3位	H18年度	3位	1位
H14年度	24位	2位	H19年度	5位	1位
H15年度	8位	2位	H20年度	5位	1位
H16年度	2位	2位	H21年度	5位	1位
H17年度	2位	1位	H22年度	6位	1位

※平成17年度から合併後の新城市として参加。人口規模5万人以下から5万人～10万人に区分変更。

さらに、コンテストが自治体の環境施策向上に活用されるよう、自治体とネットワーク合同の研究会や職員研修、地域ブロックごとに交流会が開催され、本市も参加しています。平成23年度においては、「環境首都創造 自治体全国フォーラム」が本市で開催されました。

◇交流会開催状況

区 分	時 期	開催場所
全国フォーラム	10月19日～20日	新城市 新城文化会館
中部環境5市サミット	8月11日	掛川市 大日本報徳社 大講堂

《森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト》

昨今の森林関連産業を取り巻く状況は厳しいものがあり、山村の過疎化や高齢化により林業に携わる人が減少してきたこと、採算の合う産業として成り立ちにくいことなどによって、放置される森林が増え、林業から人々の関心が離れてしまいました。

そんな状況を背景として、林業や製材業だけではない多様な角度からの「森との関わり方」を創出し、森林に関わる人材育成と新産業を創造することを目的として、平成18年11月16日に「森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト」が地域再生計画として認定されました。



この計画は、具体的には市内の森林NPOの活動を中心として、森林に関する基礎知識の学習会や間伐・枝打ち・下草刈りなどの技術を覚えるための講習会を開催することにより、森林整備と人材育成のしくみを作り上げ、森づくりと人づくりを進めていくものです。

平成23年度においては、初心者・中級者・上級者（森林ボランティアリーダー養成講座）3コースの講習会を計23回開催し、子供から大人まで、市内外から291名の方が参加されました。